

令和6年度 ボランティア養成講座①・②

令和6年 7月26日(火)・29日(金)



今年も「ボランティア養成講座」が、視聴覚室を会場に、15名の高校生と16名の保護者の参加のもと、開催されました。

開講式のあと、本校 石井忠一教諭より「寄り添いのボランティア」についての講義演習がありました。ボランティアとはどのようなものがあるのか、また、支援される側の気持ちをくみ取りながらのボランティアについての話を真剣に聞く高校生や保護者の姿が見られました。

高校生と保護者とのグループトークでは、【子どもの家庭での過ごし方】、【これまで我が子に対してしてもらって嬉しかったこと、今後やってもらいたいこと】この2つの議題を中心に話し合いを行いました。他にも高校生が質問し、保護者が答えるなど、6グループそれぞれに終始和やかな雰囲気の中で熱心に話し合いが行われました。

3日後には、夏祭りが開催され14名の高校生が引き続きボランティアとして参加しました。前半は校内見学を行い、後半は夏祭りの各ブースのお手伝いをしてもらいました。

両日ともに、良い経験になったと話す高校生が多くいました。



【開校式・講座の様子】



【グループトークの様子】

【夏祭りの様子】



参加者の感想

高校生より

○障がいをかかえた人のことや、その親の方とのお話をでき、たくさんの知識を得ることができました。まだまだ知らないことがあるので、障がいについて調べて、考えていきたいと思います。そしてもっと障がいを抱える子や保護者の方とかかわっていきたくと思いました。

このような講座に参加することができて良かったです。今後の活動も楽しみです。

○障がい者とひとくくりにするのではなく、一人一人それぞれに接し方が違うということが分かりました。ただ、助けるのではなく気持ちを考えて接することが大切だと思いました。

自分の兄が高等部の卒業生なので、何をしていたのかが知ることができて良かったです。

○普段あまり関わる機会がない子どもたちに不安なことが多かったですが、夏祭りに参加してたくさんの笑顔を見ることができてとても楽しい時間でした。

特別支援に興味があり、今回たくさんのお話をうかがえてこれからの進路に役立てられることが多かったです。ありがとうございました。

○思っていたより子どもたちが自分を受け入れてくれ、楽しく参加することができました。障がいの特性によってクラスが分かれていることが学校見学での説明で知ることができました。また、教室の工夫がされていて、生徒想いの先生方がたくさんいるんだと感じました。将来は保育系を目指していますが、今回特別支援の子どもたちと関わることで良い経験になりました。

保護者より

○高校生と一緒に話しさせて頂き、私としても今回とてもいい経験になったと思います。とても素敵な高校生に会えて良かったです。たくさんの思いを聞いて嬉しかったです。自分の子どもについて話す機会がなかったのですがたくさん話せてスッキリしました。石井先生のお話もいろいろ考えさせられました。

○高校生の方から、自分たちとあまり変わらないのかもしれないと言われてもらい理解を深めてもらうきっかけになる素晴らしい場だったなと思いました。知ろうとしてくれた高校生の気持ちがとても嬉しく感じました。

○石井先生の話聞いて支援のありがたさについてとても考えさせられ、勉強になりました。このような取り組みが広がって欲しいと感じました。